



理工学部生命化学コース学生が
第35回 非線形反応と協同現象研究会にてポスター賞を受賞

【概要】

理工学部理工学科生命化学コース4年の古市 理彩さんが、第35回非線形反応と協同現象研究会においてポスター賞を受賞しました。

【本文】

2025年12月6日に、第35回非線形反応と協同現象研究会が広島大学で開催されました。本研究会は、非線形反応と協同現象研究会の主催により毎年度開催されており、1989年の初開催以来、化学、物理学、生物学、数学、工学など、広範な分野における非平衡現象に見られる自己組織的な時空間パターン形成について活発な議論が行われています。

本研究会では、ポスター発表のうち、若手研究者（大学院生、博士研究員、助教等）による特に優れた発表に対してポスター賞が授与されます。今年度は64件のポスター発表がなされ、厳正な審査の結果、4名の発表者が受賞しました。そのうちの1名として、本学理工学部理工学科生命化学コース学部4年の古市 理彩さん（指導教員：成田 貴行 教授）がポスター賞を受賞しました。今後の益々の活躍が期待されます。

○ポスター賞

理工学部理工学科生命化学コース学部4年 古市 理彩 さん

（指導教員：成田 貴行 教授）

題目：UV処理コラーゲンゲルのpH感応特性と細胞足場への応用

著者：古市理彩、瀬戸山翔輝、原口椋多、成田貴行

関連Webサイト：<https://sites.google.com/view/nonlinear2025>



受賞した古市さん（写真右）